

固形癌における MTAP loss と臨床的および分子生物学的特徴の解明

1. 研究の対象

以下の SCRUM -Japan GI/MONSTAR-SCREEN 関連研究に参加された方が対象です。

- 1) 治癒切除不能な固形悪性腫瘍における血液循環腫瘍 DNA のがん関連遺伝子異常及び腸内細菌叢のプロファイリング・モニタリングの多施設共同研究（SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN : UMIN000036749）
- 2) 進行固形悪性腫瘍患者に対する AI マルチオミックスを活用したバイオマーカー開発の多施設共同研究（SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN-2 : UMIN000043899）

2. 研究目的・方法

[研究の目的]

悪性腫瘍に対する分子プロファイリングプラットフォームである SCRUM-Japan GI/MONSTAR-SCREEN 関連研究で得られた臨床病理学的因子、臨床経過（治療歴や奏効割合、無増悪生存期間、治療成功期間、全生存期間等）等の臨床情報とゲノム情報等のオミックス情報を活用して、固形癌における *MTAP* loss の有無と、がん種毎の頻度・臨床病理学的背景・共変異等の分子プロファイル・予後・全身薬物療法の抗腫瘍効果の実態を明らかにすることです。

[研究の方法]

固形癌における *MTAP* loss の臨床病理学的背景や分子プロファイル等を明らかにするために SCRUM -Japan GI/MONSTAR-SCREEN 関連研究で検出された遺伝子異常等のバイオマーカーについて解析を行います。また、*MTAP* loss の有無で遺伝子異常や臨床情報の対比・検討を行うことで臨床的意義の解釈を行います。なお、必要に応じて TCGA・ICGC などの公的データベースのデータとの統合解析を行うことがあります。

[研究実施期間]

研究許可日から 2028 年 2 月 29 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、性別、疾患名、遺伝子変異検査結果 等

4. 外部への試料・情報の提供

データの解析は国立がん研究センター東病院のみで行われ、他の機関への提供はありません。

今回の臨床研究において、あなたに提供して頂いた試料・情報はとても貴重なものであり、この研究が終わった後も保管しておけば、将来新たな研究成果を生み出す可能性があります。

そのため、この研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については当該研究の説明同意文書又は、各機関の公式ホームページでの情報公開等をもってお知らせいたします。

- ・国立がん研究センターの研究に関する情報について

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/list/index.html

5. 研究組織

研究代表者：国立がん研究センター東病院 トランスレーショナルリサーチ支援室
中村 能章

共同研究機関：

施設名	研究責任者	研究機関の長
国立がん研究センター東病院	中村 能章	中釜 斉
東京医科歯科大学	池田 貞勝	田中 雄二郎
亀田総合病院	大山 優	亀田 俊明

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院

トランスレーショナルリサーチ支援室

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-5110 FAX：04-7135-5106

受付時間：平日 9-16 時（祝祭日、土曜・日曜、年末年始は受け付けない）